

製品名: AS250 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab07198

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	210kDa

抗原情報

遺伝子名	RALGAPA2
別名	RALGAPA2; C20orf74; KIAA1272; Ral GTPase-activating protein subunit alpha-2; 250 kDa substrate of Akt; AS250; p220
遺伝子 ID	57186.0
SwissProt ID	Q2PPJ7
免疫原	抗血清はヒト AS250 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 641-690

背景

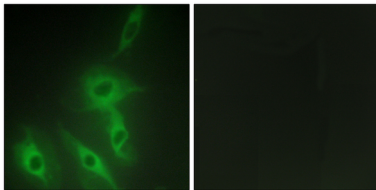
RALGAPA2 (Ral GTPase 活性化タンパク質触媒 α サブユニット 2) はタンパク質コード遺伝子です。関連パスウェイには、小胞を介

した輸送と GLUT4 の細胞膜への移行があります。この遺伝子に関連する GO アノテーションには、タンパク質ヘテロ二量体形成活性と GTPase 活性化活性が含まれます。この遺伝子の重要なパラログは RAP1GAP です。低分子 GTPase を介したシグナル伝達の制御

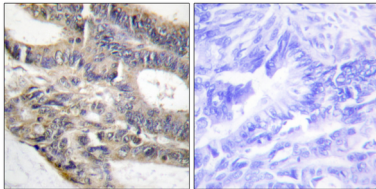
研究分野

-

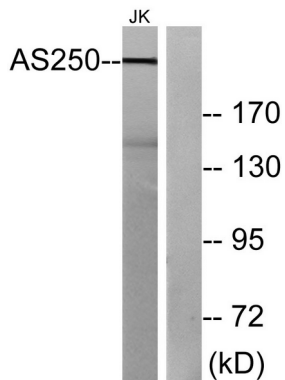
画像データ



AS250 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



AS250 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



AS250 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。